

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	001	教育委員会運営事業			中事業	01	教育委員会運営事業		
小事業	01	教育委員会運営事業			02	教育委員会表彰事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実			教育総務課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
根拠例規	有	坂井市教育委員会会議規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、福井県教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など、幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進し、創造的で人間性豊かな人材の育成を図る。また、学校教育、社会教育・体育及び芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などに対し表彰し、一層の振興を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会運営事業 2,581 千円

- 報酬（教育委員長1名、教育委員3名） 2,413 千円
- 旅費（費用弁償） 7 千円
- 需用費（印刷製本費他） 69 千円
- 使用料（有料道路通行料） 10 千円
- 負担金 82 千円
 - 会議・研修参加負担金 10 千円
 - 県市町教育委員会連絡協議会負担金 52 千円
 - 県市町教育委員会連絡協議会総会負担金 20 千円

教育委員会の開催数（うち、本庁舎以外での開催数）	15回（3回）
--------------------------	---------

◆教育委員会表彰事業 118 千円

- 報償費（記念品等） 99 千円
- 需用費（消耗品費） 10 千円
- 委託料（写真撮影業務委託料） 9 千円

市教育委員会表彰内訳		
功労賞	21名	計21件
功績賞	19名・2団体	計21件
奨励賞	10名・1団体	計11件

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	2,999	3,019	2,765	△ 20
	人件費	5,606	4,699	4,621	907
	総事業費	8,605	7,718	7,386	887
人員	正職員	0.80 人	0.70 人	0.65 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.80 人	0.70 人	0.65 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	8,605	7,718	7,386	887

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	教育委員会会議の議案数	件	目標			48	48	48
			実績			35	48	42
		達成率(%)	0.0	0.0	72.9	100.0	87.5	
指標の説明								
指標	教育委員会への教育委員の延べ出席率	%	目標			100	100	100
			実績			100	100	100
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標	教育委員会の議事録ホームページ延べ公開率	%	目標			100	100	100
			実績			100	100	100
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	教育委員会の審議議案件数は減少しましたが、出席率は100%を維持しています。また、議事録のHP公開も継続しており、積極的な教育委員会運営が行われています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	平成29年7月には春江中コミュニティセンター、9月には三国支所、10月には三国運動公園健康管理センター、平成30年1月には市役所本庁で教育委員会を開催しました。また、7月教育委員会終了後には県教育総合研究所等の視察を行い、9月教育委員会終了後には三国市民センターの見学を行いました。加えて、平成29年4月と平成30年1月に総合教育会議を開催し、教育行政について協議を行いました。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度	目標年度	平成31年度
方向性の説明	今後も一層の教育振興に向けて、教育委員会運営事業に取り組みます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
大	事業	051	教育委員会事務局事業	中	事業	01	教育委員会事務局事業		
小	事業	01	教育委員会事務局事業	02	省エネ対策事業	他		事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		教育総務課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	有	教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
根拠例規	有	坂井市教育委員会行政組織規則、坂井市奨学育英資金貸付規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、福井県教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。また、教育施設の適切なエネルギー管理に取り組み、省エネルギー対策を推進する。

【事業の概要】

◆教育委員会事務局事業	7,935 千円
○旅費（教育長・職員出張旅費）	97 千円
○交際費（教育長交際費）	326 千円
○需用費（消耗品・書籍他）	172 千円
○委託料	891 千円
ストレスチェック委託料	166 千円
中高連絡協議会事業委託料	725 千円
○使用料及び賃借料（車両借上料他）	203 千円
○負担金、補助及び交付金	5,446 千円
負担金（坂井地区教育振興会負担金他）	3,346 千円
補助金（小中学校教育振興費奨励金他）	2,100 千円
○貸付金（奨学育英資金貸付者 4人）	800 千円
◆省エネ対策事業	433 千円
○旅費（講習会等参加旅費）	22 千円
○委託料（省エネコンサル委託料）	394 千円
○負担金（講習会受講料）	17 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	8,368	9,602	11,912	△ 1,234
	人件費	13,664	12,755	15,284	909
	総事業費	22,032	22,357	27,196	△ 325
人員	正職員	1.95 人	1.90 人	2.15 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.95 人	1.90 人	2.15 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,554	4,493	2,185	△ 1,939
	一般財源	19,478	17,864	25,011	1,614

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	奨学育英資金貸付額	千円	目標			1,000	1,400	1,200
			実績			800	600	1,200
			達成率(%)	0.0	0.0	80.0	42.9	100.0
指標の説明								
指標	補助金交付数	件	目標			3	3	3
			実績			3	3	6
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	200.0
指標の説明		坂井市教育研究会補助金、市立小中学校教育振興奨励金、坂井市学校創立周年記念事業補助金						
指標	省エネ対策推進委員会の開催数	回	目標			0	1	2
			実績			0	1	2
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
指標の説明		省エネ調査結果報告等（コンサル業務委託→庁内実施）						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	奨学金制度の適正な運用や省エネ対策などに取り組んでいることが分かります。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組みました。また、ストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルスの維持向上を図りました。加えて、省エネ対策事業により、省エネの意識向上を図ることが出来ました。
これまでの見直しや改善等の実績	教育委員会内の情報共有や適切な課題対応について、日頃から確認しています。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	今後とも教育委員会事務局事業を適切に実施し、学校と協力しながら、学校施設の省エネルギー対策にも積極的に取り組んでいきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理事業
大	事	業	051	小学校管理事業	中	事	業	01	小学校管理事業
小	事	業	01	小学校管理事業	21	省エネ対策事業			他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		教育総務課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	教育基本法、学校教育法、小学校設置基準、学校健康安全法ほか			
根拠例規	有	坂井市立小学校及び中学校の管理規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、福井県教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
市内の小中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校施設の適正な維持管理を行う。	
【事業の概要】	
◆小学校管理事業 本庁	190,615 千円
○賃金(臨時職員用務員)	15,338 千円
○旅費(用務員)	270 千円
○需用費(プール用消毒剤・修繕料他)	17,723 千円
○役務費(火災保険他)	5,793 千円
○委託料(各種保守点検委託料他)	36,997 千円
○使用料及び賃借料(土地借上料、教育用コンピュータ他)	95,555 千円
○工事請負費(フェンス、教室、グラウンド改修工事他)	10,784 千円
○原材料費(机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他)	1,914 千円
○備品購入費	6,241 千円
(遠隔授業・研修システムPC一式、鉄棒、牛乳保冷庫他)	
◆小学校管理事業 各小学校	94,698 千円
市内19小学校にて対応する維持管理費	
○需用費(消耗品費・光熱水費他)	85,039 千円
○役務費(通信運搬費他)	4,859 千円
○委託料(各種保守点検料)	2,111 千円
○使用料及び賃借料(複写機リース料他)	2,689 千円
◆省エネ対策事業	1,174 千円
○使用料及び賃借料(デマンド監視システム使用料)	1,174 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	安心して子育てできる環境整備 ■幼稚園、小学校、中学校管理運営
----------	------------------------------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト				
事業費	286,487	338,720	251,188	△ 52,233
人件費	15,065	9,063	10,237	6,002
総事業費	301,552	347,783	261,425	△ 46,231
人員				
正職員	2.15 人	1.35 人	1.44 人	0.80 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	2.15 人	1.35 人	1.44 人	0.80 人
財源内訳				
国県支出金	745	12,538	0	△ 11,793
その他特定財源	590	49	1,143	541
一般財源	300,217	335,196	260,282	△ 34,979

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標 施設・遊具修繕件数	件	目標			115	115	115
		実績			90	89	108
		達成率(%)	0.0	0.0	78.3	77.4	93.9
指標の説明							
指標 独自指標 教職員健康診断受診率	%	目標			100	100	100
		実績			99.7	100.0	100.0
		達成率(%)	0.0	0.0	99.7	100.0	100.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標に基づく評価 本庁事業における修繕件数は若干増加し、予算計上した修繕案件全てに対応することができました。教職員健康診断受診率については、引き続き学校と協力しながら100%となるよう教職員の健康増進に努めます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>市内19小学校の適正な維持管理を行い、教育環境の改善に取り組みました。また、ICT環境整備については、校務用のパソコンや12学校の遠隔授業・研修システムについて整備を行いました。なお、消防設備や遊具の点検・修繕の一方で、施設の老朽化が進み、深刻な破損等が突発しており、財政的・人的な面から計画的で予防的な施設管理が出来ていないのが現状です。</p> <p>経費節減のため、軽微な修繕は学校や当課職員で直接実施してきました。また、文科省作成のマニュアルなども学校と共有し、協力しながら学校施設の日常点検に努め、修繕箇所の早期発見、早期修繕に努めてきました。加えて、毎年、学校側と修繕箇所の優先順位を協議しながら、翌年度予算に反映してきました。</p>		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	<p>引き続き、学校と協力しながら光熱水費など維持管理費の節減を図ります。また、修繕費や工事費については、緊急的な対応分の予算確保への努力を継続します。特に、大規模な修繕や工事が見込まれる案件について整理し、複数年度にわたる修繕計画を作成して、計画的・予防的な施設管理に向けて取り組んでいきます。</p>				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	基本施策	2	安心して子育てできる環境整備			
実施事業名(小事業)	小学校管理事業(市内19小学校)					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>●公共施設の効率的な維持管理</p> <p>1 小・中学校等の個別管理計画の策定</p> <p>(1) 平成28年度に財政課が策定した公共施設等総合管理計画と関連して、市が所有する小・中学校等の個別管理計画の策定が必要となっています。</p> <p>※文科省は平成32年度までに小・中学校について個別管理計画を策定することを各自治体に求めており、国が交付金の事業採択をする際の考慮要件としていることから、計画的・予防的な施設管理を行っていく上でも早期に策定していくことが必要と考えられます。</p> <p>※学校プールや社会体育施設のプールについても管理計画を策定していくことが必要と考えられます。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理事業
大	事	業	101	小学校施設整備事業	中	事	業	01	小学校施設整備事業
小	事	業							他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		教育総務課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	学校教育法、小学校設置基準、地震防災対策特別措置法ほか			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	小学校施設整備計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
児童の安全安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行う。	
【事業の概要】	
○役務費（申請手数料）	190 千円
○委託料<Ⅰ期工事>	6,680 千円
・春江西小学校校舎大規模改造工事監理委託料 （株）大澤設計事務所	3,000 千円
・大石小学校校舎大規模改造工事監理委託料 （株）木下設計	3,680 千円
○工事請負費<Ⅰ期工事>	313,630 千円
・春江西小学校校舎大規模改造工事	139,000 千円
・大石小学校校舎大規模改造工事（仮設校舎分含む）	174,630 千円
（翌年度繰越）	
○役務費（申請手数料）	36 千円
○委託料<Ⅱ期工事>	9,066 千円
・春江西小学校校舎大規模改造工事監理委託料	3,480 千円
・大石小学校校舎大規模改造工事監理委託料	5,586 千円
○工事請負費<Ⅱ期工事>	393,000 千円
・春江西小学校校舎大規模改造工事	148,200 千円
・大石小学校校舎大規模改造工事（仮設校舎分含む）	244,800 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	320,500	37,422	878,045	283,078
	人件費	7,007	7,384	1,919	△ 377
	総事業費	327,507	44,806	879,964	282,701
人員	正職員	1.00 人	1.10 人	0.27 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.00 人	1.10 人	0.27 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	59,418	0	191,838	59,418
	その他特定財源	219,700	35,400	595,683	184,300
	一般財源	48,389	9,406	92,443	38,983

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	大規模改造事業着手校数 （設計委託）	校	目標			2	3	
			実績			0	3	
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	大規模改造事業に向けた当初の計画として2校の実施設計を行う予定でしたが、財政課等との協議により29年度は実施を見送ることとなりました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			児童や教職員等の安全安心を確保し、教育環境の充実を図るため、整備計画に基づき着実に工事を進める必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	財政課等と協議をしながら整備計画の調整を行いました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		完了
目標年度	平成30年度		目標年度	平成38年度	
方向性の説明	整備計画に基づき、平成38年度の事業完了に向けて着実に事業を進めていきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理事業
大	事	業	051	中学校管理事業	中	事	業	01	中学校管理事業
小	事	業	01	中学校管理事業	07	省エネ対策事業			他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		教育総務課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	教育基本法、学校教育法、小学校設置基準、学校健康安全法ほか			
根拠例規	有	坂井市立小学校及び中学校の管理規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、福井県教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市内の中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

- ◆中学校管理事業 本庁 55,786 千円
 - 賃金(臨時職員用務員) 2,181 千円
 - 旅費(用務員) 11 千円
 - 需用費(修繕料他) 4,571 千円
 - 役務費(火災保険他) 1,465 千円
 - 委託料(各種保守点検委託料他) 17,936 千円
 - 使用料及び賃借料(土地借上料、教育用コンピュータ他) 27,562 千円
 - 原材料費(机天板、椅子座面、グラウンド安定剤) 787 千円
 - 備品購入費(製氷機、iPad、事務用机・椅子他) 1,273 千円
- ◆中学校管理事業 各中学校 45,209 千円
 - 市内5中学校にて対応する維持管理費
 - 需用費(消耗品費・光熱水費他) 40,852 千円
 - 役務費(通信運搬費他) 2,249 千円
 - 委託料(各種保守点検料) 1,156 千円
 - 使用料及び賃借料(複写機リース料他) 952 千円
- ◆省エネ対策事業 309 千円
 - 使用料及び賃借料(デマンド監視システム使用料) 309 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	安心して子育てできる環境整備 ■幼稚園、小学校、中学校管理運営
----------	------------------------------------

3.事業のコスト

(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト				
事業費	101,304	103,278	98,136	△ 1,974
人件費	11,912	8,727	7,251	3,185
総事業費	113,216	112,005	105,387	1,211
人員				
正職員	1.70 人	1.30 人	1.02 人	0.40 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	1.70 人	1.30 人	1.02 人	0.40 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	865	206	286	659
一般財源	112,351	111,799	105,101	552

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標		目標			30	30	30
独自指標	施設・遊具修繕件数	実績			18	15	17
		達成率(%)	0.0	0.0	60.0	50.0	56.7
指標の説明							
指標		目標			100	100	100
独自指標	教職員健康診断受診率	実績			99.7	99.5	97.6
		達成率(%)	0.0	0.0	99.7	99.5	97.6
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	本庁事業における修繕件数は若干増加し、予算計上した修繕案件全てに対応することができました。教職員健康診断受診率については、引き続き学校と協力しながら100%となるよう教職員の健康増進に努めます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>市内5中学校の適正な維持管理に努めました。また、省エネ対策については、教室等の適正な環境基準の中で、デマンドについて監視システムを活用し適正な運用に努めました。なお、消防設備の点検・修繕の一方で、中学校施設においても突発的な修繕案件が発生しており、財政的・人的な面から計画的で予防的な施設管理までは至っていないのが現状です。</p> <p>経費節減のため、軽微な修繕は学校や当課職員で直接実施してきました。また、文科省作成のマニュアルなども学校と共有し、協力しながら学校施設の日常点検に努め、修繕箇所の早期発見、早期修繕に努めてきました。加えて、毎年、学校側と修繕箇所の優先順位を協議しながら、翌年度予算に反映してきました。</p>		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校と協力しながら光熱水費など維持管理費の節減を図る。 修繕費や工事費については、緊急的な対応分の予算確保への努力を継続する。 大規模な修繕や工事が見込まれる案件について整理し、複数年度にわたる修繕計画を作成し、計画的、予防的な施設管理に向けて取り組む。 				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	基本施策	2	安心して子育てできる環境整備			
実施事業名(小事業)	中学校管理事業(市内5中学校)					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>●公共施設の効率的な維持管理</p> <p>1 小・中学校等の個別管理計画の策定</p> <p>(1) 平成28年度に財政課が策定した公共施設等総合管理計画と関連して、市が所有する小・中学校等の個別管理計画の策定が必要となっています。</p> <p>※文科省は平成32年度までに小・中学校について個別管理計画を策定することを各自治体に求めており、国が交付金の事業採択をする際の考慮要件としていることから、計画的・予防的な施設管理を行っていく上でも早期に策定していくことが必要と考えられます。</p> <p>※学校プールや社会体育施設のプールについても管理計画を策定していくことが必要と考えられます。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	社会教育施設費
大	事業	001	キンダーホール管理運営事業	中	事業	01	キンダーホール管理運営事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		教育総務課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市キンダーホール三国条例		
関連計画・マニュアル	有		坂井市教育振興基本計画、福井県教育振興基本計画		

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
放課後の児童・生徒の居場所として当該施設を開放し、地域住民の集会等の開催場所として貸すことなどを通じて、青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化を図る。

【事業の概要】

- 賃金（臨時職員） 988 千円
- 需用費（燃料費、光熱水費） 207 千円
- 役務費（電話料、火災保険料） 40 千円

【開館時間】 月・火・水・木・金（午後3時～6時）
（土曜日・日曜日・祝日・祭日・年末年始は休館）

【児童・生徒の利用状況】 単位：人

	年間利用者数	1日平均利用者数
平成29年度	2,314	9.0
平成28年度	2,043	8.1
平成27年度	2,460	10.0
平成26年度	1,942	7.9
平成25年度	1,194	4.8

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,235	3,013	339	△ 1,778
	人件費	2,382	2,014	1,919	368
	総事業費	3,617	5,027	2,258	△ 1,410
人員	正職員	0.34 人	0.30 人	0.27 人	0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.34 人	0.30 人	0.27 人	0.04 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	12	12	△ 12
	一般財源	3,617	5,015	2,246	△ 1,398

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	児童・生徒の利用状況	目標			2,000	2,000	2,200
			実績			2,314	2,043	2,460
			達成率(%)	0.0	0.0	115.7	102.2	111.8
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	児童・生徒によって一定の利用は維持しています。ただし、地元地区の方々による利用であり、開館1日あたり9.0人の利用にとどまっているのが現状です。							

5.事業に対する評価

	妥当性に課題	効率性に課題	有効性に課題
現状と課題	旧三国町役場・旧三国町立図書館・キンダーホールと役割を変えて利用してきた施設ですが、老朽化が著しく、また、改修して施設の利用を継続するには多大な費用がかかることから、今後は施設の利用を行わない方向で検討する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	施設の利用などについて地元との協議を継続して行ってきました。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		廃止	中長期的な方向性		完了
目標年度	平成30年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	施設の利用廃止に向けた地元との協議を継続して行います。また、施設の解体などの処分についても検討を行います。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金			中事業	01	教育振興整備基金		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実			教育総務課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市教育振興整備基金条例			
関連計画・マニュアル	有		坂井市教育振興基本計画、福井県教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興及び教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

【事業の概要】
 ○積立金
 教育振興整備基金利子 7千円

平成28年度末 現在高 ①	平成29年度中増減額		平成29年度末 現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
36,331 千円	0 千円	7 千円	36,338 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	7	11	25	△ 4
	人件費	420	671	427	△ 251
	総事業費	427	682	452	△ 255
人員	正職員	0.06 人	0.10 人	0.06 人	△ 0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.06 人	0.10 人	0.06 人	△ 0.04 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	7	11	25	△ 4
	一般財源	420	671	427	△ 251

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	当面の基金額確保に向けた、基金残高の増加	有無	目標			1	1	1
			実績			1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	29年度は利子分の積み立てを行いました。年度末の基金残高は36,338千円となりました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			
これまでの見直しや改善等の実績	平成24年度に小学校耐震改修事業に充当して以来、基金取り崩しを行っていません。小・中学校の耐震改修事業は平成27年度に完了しましたが、耐震改修以外の大規模改造事業や施設修繕など、増加する施設改修需要に役立つ基金とするためには、相当額の増額が求められます。			
	基金の拡充について財政課と協議を行いました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	財政課等と協議を継続し、教育振興や教育施設の環境整備の財源として望ましい基金整備に向けて検討していきます。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						